

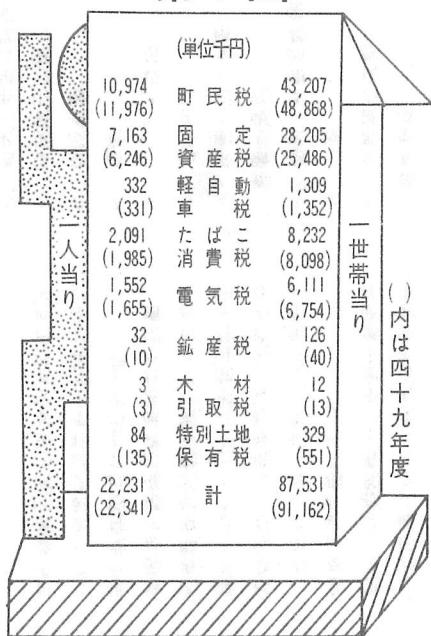
町の財政のうえで比重が高く町民の皆さんに負担していただいている税収入の状況は第3図のとおりです。

昭和五十年度の町税収入は二億九千七百六十四万四千円、前年度に対し一千五十三万七千円増加しました。なお、町民一人当りの税負担状況は二万二千二百三十一円、一世帯当りでは八万七千五百三十一円となっております。

町民一人当り  
二二二、二三一円  
(税負担)

- ◎六千五百六十三万九千円(四・二%)となり財政構造は硬直化の傾向を示しています。(第2図参照)なお、五十年度に実施された主な事業は次のとおりです。
- ◎共同利用施設建設事業(上堺会館繰越事業)七千七百五万八千円
- ◎家畜ふん尿乾燥処理施設建設事業一千六百八十三万五千円
- ◎栗山川漁港改修事業 二千九十五万円
- ◎道路整備事業 五千八百八十四万二千円
- ◎消防機庫建設事業(本部分団第一)三百万円
- ◎横芝小学校校舎建設事業 五千八百八十七万五千円
- ◎公共用地取得造成事業 三千六百三十四万八千円

第 3 図



### 町債の状況

町が実施する事業のうち、多額の経費を要するもので、その事業の性格、効果等を考慮すると後年度の町民にも経費の分担をしていただくことが適当なものについて県の許可を受けて政府、県、銀行等から長期の借入れを行って事業を実施しています。

昭和五十年度末の町債借入現在高は五億三千五百八十八万五千円です。そのうち八千七百九十万円は五十年度に借りたものでその内訳は次のとおりです。

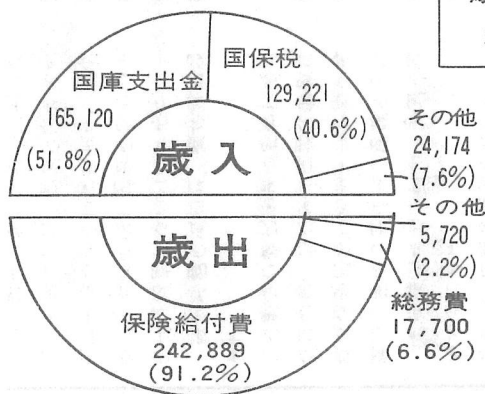
- ◎共同利用施設建設事業 三千六百八十万円
- ◎上堺小学校校舎増築事業 二百二十万円
- ◎地方税減収補てん債 二百百万円
- ◎国民健康保険特別会計については、医療費の改定と老人医療費、高額療養費等の福祉医療の影響によって大きな伸びが見られます。有線放送電話特別会計、国民保養センター特別会計については通常の決算となっております。(第4・5・6図参照)

### 特別会計

第 4 図

#### 国民健康保険特別会計

歳入決算額 318,515千円  
歳出決算額 266,309千円  
差引残高 52,206千円



第 5 図

#### 国民保養センター特別会計

歳入決算額 4,469千円  
歳出決算額 4,249千円  
差引残高 220千円

第 6 図

#### 有線放送電話特別会計

歳入決算額 24,421千円  
歳出決算額 21,657千円  
差引残高 2,764千円

